

ふるさと納税にマリア観音像の設置項目を記載しては

市長 今はできない。



松永忠次 議員

マリア観音像の設置について

議員 地域振興部長が、協力できる範囲で協力するとの答弁であったが進捗状況は。

地域振興部長 マリア像の保管、建物を建てる農地の転用手続、その他各種事務手続の支援、寄附への協力の呼びかけ、作者と市民の会との連絡調整を行っている。

議員 提案型の質問になるが、マリア観音像の誘致・設置の事業をふるさと納税の項目に入れては

どうか。

市長 マリア像の誘致・設置事業のための皆さんからの浄財を、市が活用することはできない。

議員 だから本市のふるさと納税の一つの項目として考えてはどうか。原城一揆まつりの補助金はいくら使用しているか。

地域振興部長 補助金は一回で470万円。合併後の総額は約8千万円弱である。

議員 北有馬町のフェスティビタスナタリスの補助額は。

地域振興部長 年間380万円。

議員 復活祭とかいろいろやっているではないか。マリア観音像を見て、楽しんでいいのでは。世界一のマリア観音像を

高規格道路について

議員 高規格道路の早期実現化を県に要望されたが、県の回答は。

市長 島原半島3市と意見交換を行う趣旨で10月には県と第一回の検討会

を開催した。

議員 本市の場合、自然災害に加え、緊急医療体制の支援、地域住民の生活の安全安心を補う命の道で、来年の3月に3市関連でやるのは遅いのでは。

市長 議会も、地域も行政も一体となつて、この道路についても機運をさらに盛り上げて訴えていく必要がある。

その他質問

- ・市政について
- ・(出馬するののか)
- ・地域振興について
- ・(廃校の利活用について)



▼寄附金の使い道について（希望される事業を1つお選びください。）
※未記入の場合は◎とさせていただきます。

		金額
寄附金の使い道	<input type="checkbox"/> ①世界遺産の推進に関する事業	円
	<input type="checkbox"/> ②自然環境の保全及び景観の維持、再生に関する事業	円
	<input type="checkbox"/> ③子供たちの健全育成に関する事業	円
	<input type="checkbox"/> ④高齢者の生きがいづくりに関する事業	円
	<input type="checkbox"/> ⑤文化・芸術のまちづくりに関する事業	円
	<input type="checkbox"/> ⑥その他市長が特に必要と認める事業	円
新設しては	<input type="checkbox"/> ○マリア観音像の誘致・設置事業	円

長崎県議会観光生活建設委員会が南島原市を現地調査されました

議会三三二通信



中村観光生活建設委員長の挨拶

令和3年11月11日、長崎県議会観光生活建設委員会の方々が、現地調査で本市を訪れました。

現地調査ではまず、中村一三観光生活建設委員長から挨拶があり、引き続き、松本市長、林田議長が歓迎の挨拶を行いました。

その後、調査事項である「自転車歩行者専用道路」事業の概要について、主に、事業の計画・財源、交差点の整備や安全対策などについて、担当課職員が説

明を行いました。その後の質疑応答では、「自転車歩行者専用道路の各地点の整備、利用客のニーズ、外灯の整備、大きな大会等の誘致、総事業費、事業の進捗率、この事業をやるねらいや効果」などについて多くの質問があり、活発な意見交換が行われました。



現地調査の様子